

泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202
古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人 黒松内つくし園
泊村老人ホーム むつみ荘
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊
編集発行 むつみ荘広報委員会

綺麗な桜に気分も晴れやか

5月14日むつみ荘の周りの桜が満開になったのに合わせて、養護ゆりユニットでは交流室を利用し、お花見を開催しました。天候にも恵まれ最高の「お花見日和」となりました。メニューは、厨房で作って頂いた山菜ごはんとユニットで用意した焼きそば、炭火で焼いた焼き鳥、つくね、縞ホッケや泊産の活ホタテなど海の幸を堪能しました。朝から利用者と一緒に山菜ごはんでおにぎりを握ったり、ホットプレートで焼きそばを作りました。ユ

ニットの窓から、炭をおこしている職員の姿を見て「まだ行けな

いの？早く食べたいね」と始まるのを待ちわびていました。それぞれ好きな席に座り、普段とは違うメンバーで座る人もいて「あら、一緒に食べるの珍しいね」や「桜を見ながらの食事はまた格別！！」とみなさん喜ばれていて、中でもめったに食べられないホタテはとて人気がありました。お酒好きの利用者は、日本酒を片手に昔話で盛り上がり楽しまれていました。桜の木の下での撮影では皆さん素敵な笑顔をされていました。来年こそは、外で桜を見ながら開催できればいいなと願っています。



職員募集！！

～老人ホームと一緒に働きませんか？～

むつみ荘では、支援員・介護員・看護師を募集しております。施設の仕事に興味ある方は、是非ご応募ください。一緒に働いてくれる方をお待ちしております。

●勤務時間●

・シフト制（パート勤務可）※特に、夜間勤務可能な方大歓迎！

●資格●

【支援員・介護員】

・介護福祉士、ホームヘルパー2級以上 等
※資格がなくても可(応相談)

【看護師】

・正看護師・准看護師

<連絡先>

0135-65-2255 (担当：高橋)



HAPPY MOTHER'S DAY

今年も母の日に岩内町のあさの生花店様より赤やピンクの鮮

やかな色のカーネーションを寄贈していただきました。



ました。ユニットやロビーなどに飾られた花を見て「母の日かい？」「綺麗だね」「やっぱり花があるといいね」と話しながら水やりをし、癒されています。心温まるお花を寄贈して頂きありがとうございました。

新型コロナウイルスの接種始まる

利用者、職員の希望者を対象とした新型コロナウイルスの接種が5月12日から開始しました。事前に泊村役場保健師、茅沼診療所協力のもと、万が一に備えてのシミュレーションを行い、1日5人1組の5班に分け、5日間の日程で行われました。接種後は「気が付いたら終わっていた」「痛くてびっくりした」と様々な声が聞かれま



したが、特に大きなトラブルもなく希望者全員1回目の接種を終えることができました。6月中旬にかけて2回目の接種を行う予定です。道内では依然として感染が広まっており、収まる見通しも立っていません。今後も施設内での感染防止に職員一丸となって取り組んでいきたいと思

しますが、特に大きなトラブルもなく希望者全員1回目の接種を終えることができました。6月中旬にかけて2回目の接種を行う予定です。道内では依然として感染が広まっており、収まる見通しも立っていません。今後も施設内での感染防止に職員一丸となって取り組んでいきたいと思



美味しいお寿司で幸せいっぱい

毎年恒例となっている、お寿司の行事を5月21日開催しました。今回は感染症対策のため、各ユニットでの握りの実演は中止とし、厨房で握った寿司や太巻きを酢の物等と一緒にユニットに配膳する形としました。利用者が楽しみにしていたマグロ、ホタテ、エビ、イカ、サーモンなどが提供されました。利用者の飲み込む力に合わせて一口大サイズや軟飯寿司、ムースのお寿司も

用意され、利用者は好きなネタを選びながら美味しく食べていました。また、養護ユニットでは日本酒やビールも用意され、利用者は「おいしいからいくらでも食べられる」「こんなに食べて、夜ご飯食べられるかな?」「生ものは食べられないけど、太巻きやお稲荷さんもあってどれも美味しいよ」との会話も聞こえ楽しい食事の時間を過ごされていました。



★面会等についてのお願い★

道内で新型コロナウイルスの感染が拡大し感染予防対策が強化されたことに伴い、現在当施設では入居者様への**面会並びに外出・外泊を禁止**とさせていただいております。尚、緊急を要する場合の面会については、職員にその旨お伝えください。面会の際は、検温を行い37.5℃以

下の方に限りマスクの着用+手指消毒の上面会とさせていただきます。荷物等については、今迄通り事務にてお預かりさせていただいております。**感染症拡大防止にご協力ください**をお願いいたします。

感染症拡大防止にご協力ください



施設長雑感

桜前線が去り、汗ばむような陽気の訪れとともに、いよいよ本格的な夏の到来を予感させる季節となりました。北海道の6月は、1年の中で最も過ごしやすい季節と言われており、山々の緑が濃さを増し、様々な草花が咲き誇るとともに、農業などを始めとする生産活動が一層、活性化する時期となります。本施設でも、先日利用者様の協力をいただき、敷地内の畑にトマトの苗を植えるなど、今後色々な野菜や草花を植えることとしております。

さて、昨年来続いております「コロナウイルス感染症のまん延」は、その勢いが衰えることなく、去る5月17日には本道でも再び「緊急事態」が宣言されました。直近では、札幌市を中心に感染者が700名を超え、多くの介護保険事業所等でクラスターが発生し、感染者数が全国一となる日もあるなど、全く予断を許さない状況に陥っています。このことから、再度手指消

毒やソーシャルディスタンスの確保などの感染防止対策を徹底するとともに、例年7月に開催しております「むつみ荘夏祭り」についても、残念ながら本年も中止とすることとしました。

また、一方で、感染防止の切り札とされる「コロナワクチン接種」が先月から開始され、現時点で接種を希望する利用者様及び職員約100余名の方が、第1回目の接種を終えました。利用者様におかれましては、接種後の体調不良等、副反応が見られた方もおらず、ワクチン接種は順調に進んでいるものと判断しており、6月中旬には第2回目の接種の完了が見込まれる状況となっております。

終わりになりますが、利用者様並びにご家族の皆様には、面会の自粛等により、大変ご不自由やご心配をおかけしており誠に恐縮と存じますが、今般の事情を鑑み引き続きご理解並びにご協をお願いいたします

泊村老人ホームむつみ荘
施設長 高橋 英俊

